

## 第1回東区まちづくり懇話会議事録（要旨）

### 1 開催日時

平成25年6月13日(木) 午後3時00分～午後5時15分

### 2 会場

熊本市東区役所1階 101・102会議室

### 3 出席委員（順不同）

桑原委員、澤田委員、山田委員、中島委員、丸山委員、村上委員、島委員、古閑委員、田代委員、下川委員、山野委員、劔羽委員、大津委員、多神田委員、早田委員、西原委員、吉村委員 計17名出席

### 4 会議次第

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 区長挨拶

(4) 出席者紹介（自己紹介）

(5) 議事

議題1 会長選出

議題2 副会長選出

議題3 東区まちづくり懇話会の概要について

議題4 東区まちづくりビジョンについて

議題5 今年度の事業内容について

議題6 その他

議事録（要旨） 次のとおり

## 議事録（要旨）

### 議題1 会長選出

■ 事務局

設置要項第5条において、「会長は委員の互選により定める」となっているが、意見はないか。

○ 委員

熊本市行政区画等審議会の会長を務められ、さまざまな会議でのまとめ役の経験豊富な桑原委員を推薦したい。

■ 事務局

会長に熊本県立大学の桑原委員を、お願いしたいとの意見だが、他に、意見はないか。

〈全員異議なし〉

■ 事務局

当懇話会の会長は、「桑原委員」と決定する。

### 議題2 副会長選出

□ 会長

副会長についても、設置要項第5条において、「委員の互選により定める」となっているが、どなたか意見はないか。

○ 委員

副会長は女性の委員にお願いしたいと思うため、下川委員にお願いしたい。

□ 桑原会長

副会長に下川委員をとの意見だが、いかがか。

〈全員異議なし〉

□ 会長

副会長は、下川委員に決定する。

### 議題3 東区まちづくり懇話会の概要について

■ 事務局

（説明）

□ 会長

事務局からの説明があったが、東区まちづくり懇話会の概要について意見、質問はないか。

○ 委員

この懇話会と地域課題検討会の違いと役割について説明いただきたい。

■ 事務局

東区まちづくりビジョンを進めていく中で、区民や地域団体をはじめいろいろな方から意見が出てくるし、課題もみえてくる。懇話会ではこれらの意見も踏まえ、まちづくりビジョンに基づき東区のまちづくりをどう進めていくかご意見をいただきたい。

また、地域課題検討会については、各校区の自治会を中心に聞き取りを行う中で、いろいろな地域課題が見えてきた。この課題解決にむけて、項目をしぼり、校区の代表の方が集まり検討し、その議論をもとに、校区自治協議会連絡会のなかで検討することとなっている。検討状況をみながら、この懇話会でも議論いただきたいと考えている。

○ 委員

大骨は懇話会で小骨は検討会と理解していいか。

■ 事務局

そのように理解していただいていい。

#### 議題4 東区まちづくりビジョンについて

■ 事務局

(説明)

□ 会長

事務局からの説明があったが、東区まちづくりビジョンについて意見、質問はないか。

○ 委員

まちづくりビジョンについてはどのような形で広報しているのか。

■ 事務局

市政だより、ホームページに掲載し、各出張所にも置いている。また全議員、校区自治協議会会長に配布し、区役所に来所された団体等に説明し渡している。

区民として共通認識が必要と思っている。会合等の際に要望があれば説明に行く。

○ 委員

印刷物を配布しても読まないと話にならないので、校区自治協議会等の会合で話しをした方がよい。これだけ委員もいるので、働きかけをお願いしたい。

□ 会長

大学でも考えたい。

○ 委員

最低でも自治協議会加盟の団体には縦割りを通して広めてほしい。

○ 委員

東区まちづくり懇話会は東区まちづくりビジョンに基づいてまちづくりを

考えていく会と考えていいのか。

■ 事務局

そうである。

○ 委員

まちづくりビジョンにあるめざす区の姿をどのように実現していくのかをみんなで議論する場と考えていいのか。

■ 事務局

そうである。区民や地域団体などから意見や提案が出てくるし、地域課題検討会や区政モニターからも提案・意見があがってくる。その意見・提案も含めこの懇話会で議論していただきたい。

○ 委員

まちづくりビジョンを実現するためにいろんなところから情報をとり、住民代表の方も団体代表の方も集まっているこの懇話会で大きな方針を話しあっていくということでもいいか。

■ 事務局

そう考えていただきたい。

○ 委員

まちづくりにおいては、いかに次世代につないでいくかということが大事だ。東区でも少子化が進んでいるところもあり、その要因の一つに人と人との繋がり希薄化があると考え。子育て支援を通したまちの活性化も重要である。

○ 委員

ビジョンの共有が重要なことであり一番の課題である。各委員が各団体や地域等に、このビジョンを下ろしていくことが必要である。

子ども会の加入率も減り、PTA総会などへの出席者も少ない。老人会は子ども会と一緒に活動をしたいが連携が取れていない。学校も参加しやすい時間帯に設定するがそれでも少ない。こういうことも、共有が足りないだけだと思っている。PTAの総会や子育て支援の中でビジョンを紹介するなどいろんな分野で紹介すると共有につながっていくと思っている。

○ 委員

安全協会の加盟も減っている。東地区では17支部あり、各支部とも一生懸命頑張っているがなかなか住民に努力が認められない。住民を説得することがいかに難しいか感じている。いろんな機会を通して交通の分野にかかわる話をしていきたい。

○ 委員

健軍校区では灯路まつりや教育改革は地域からという取組み、また子どもを守る会、八丁馬場を良くする会などいろいろな活動を行っている。これから校区全体として、この活動がどれだけ広がっていくかを考えている。

○ 委員

託麻東校区では以前からの集落の4倍から5倍は新しい世帯があり、新旧住民のコミュニケーションをとるために、総会や球技大会の後に懇親会を行っている。また、挨拶は大事である。まちづくりはコミュニケーションだと思う。

防犯灯の話したが、新しい集落に20灯新設したいと要望を出したが、付け替えしかだめだと言われた。田舎にはもともと防犯灯はないため、こういったシステムはおかしいと思っている。

■ 事務局

街路灯と防犯灯があり、街路灯設置には基準があり、裏の路地には難しいと思う。新規の防犯灯設置については各警察署の中に防犯協会があり、半額補助がある。市では既存の取替えの費用と電気代を補助しているという状況である。こちらの説明不足であるため今後担当課で説明をしっかりとっていく。

○ 会長

状況に応じた補助制度を活用すれば問題は解決できるということだと思うので、次回以降、今のような話もできればいいと思う。

○ 委員

高齢化率と待機児童の人数を教えてほしい。

■ 事務局

高齢化率は17.8%、待機児童については、東区のみで415人。

○ 委員

子どもと接する機会も多いため、その分野に興味がある。私の家の近くに公園が出来、子ども達はみんな遊びに行く。また高齢者は朝から毎日のようにゲートボールをしており、交流の場になっている。しかし、世代を超えた繋がりはなく、そういう場を自分たちで提供するのにも必要かと思っている。

○ 委員

報告になるが、昨年度末にビジョンについて説明いただき、様々な問題点や課題がわかった。このビジョンをひとつの目標として、みんなが同じ方向を向くきっかけになると感じた。いろいろな場面でこのビジョンについて説明したり、お知らせしていくことは、大切であると感じている。

○ 委員

ビジョンの基本方針1から5まで非常にバランスがよくできている。各種団体が18から20はあると思うが、各団体とも活発に活動されているが、ビジョンを見ると、こういう部分が足りないと感じる部分もある。今後、しっかり取り組んでいきたい。

- 会長  
次回以降、具体的な取り組みについて進めていきたい。
- 委員  
社会福祉協議会では、高齢者の見守りを行っている。地域での見守りはもちろんだが、ジュニアヘルパーとって、子ども達を中心となって高齢者を見守るという活動も行っている。子どもの頃から福祉に関心を持つことは大切だという観点から行っているが、学校の中でも温度差があり、なかなか軌道に乗らない。そのあたりは、どうか委員に伺いたい。
- 委員  
市のPTA協議会へ来てもらい、説明いただいた。各学校にプリント等を配布し、PTAにも取り組みを進めていくよう話をいただいたが、現状としては、学校としてテーマに掲げて取り組んでもらっているところは加入率も高いが、全体に浸透するにはまだまだ時間がかかる。
- 会長  
先程も話があったが、普段からのコミュニティの付き合いで、お年寄りと子どもが接する機会が増えていけば、いい結果に繋がるのではないか。
- 委員  
民生委員は活動する上で、担当する町内に住んでいる人を把握しておく必要がある。しかし、市は、個人情報の問題があり提供できないという。民生委員活動に必要な情報は提供すべきである。
- 事務局  
民生委員から、活動する上で高齢者の状況を知りたいが、何の情報もないという意見もあったので、高齢者の名簿を、個人情報の管理の問題もあるので、民生委員としての活動のみに限って使用するという条件付ではあるが、今年の2月に民生委員に渡したところである。
- 委員  
民生委員の会長のみに渡してあると思うが。
- 事務局  
校区の代表者の方に管理をお願いしてある。
- 委員  
今年の2月に民生委員の代表者に渡して、あとは見てくださいという事だと聞いている。私が言いたいのは、民生委員として委嘱されているが、どこに誰が住んでいるのか全くわからないということ。少なくとも、そういうところを考えていかないといけない。
- 会長  
委員が言われたことは、ビジョン作りの際も何回か議論になった。そ

ういった事も含めて今年の2月に少し前進したということだと思う。

■ 事務局

責任者ということで民児協の会長に台帳の管理をしていただいております、それぞれの民生委員には分冊というかたちで、コピーを渡すようになっている。ただし、地域ごとに若干運用の違いがあるかもしれない。

○ 委員

私の自治会長の経験からいうと、高齢者がどこに住んでいるかは、新しいまちは別だが、各地域でそういう名簿はあるはず。自治会長はどこに高齢者が住んでいるか把握している。赤ちゃんが生まれたり、民生委員が訪問して、把握することになっている。だから当然名簿があるはず。社協長や民児協の会長も持っている。そういうのを足で歩いて民生委員さん達は把握しなければいけない。もし、そういう資料が無いとすれば、地域毎にもう1度、足で稼いで把握していかなければならない。

○ 委員

私の地域に関して言えば、今、握った部分が、2、3年もするとものすごく増えている。私の町内でも、今年だけで新規の住宅が約50戸も増えている。だから、いまの話のやり方では追いつかない。

○ 会長

それぞれの地域ごとに、いろいろな状況があるので、民生委員の制度であったり、福祉の施策、様々な分野の施策がどうフォローしていくかということだと思うので、次回、いろいろな意見を伺いたい。

## 議題5 今年度の事業内容について

■ 事務局

説明

□ 会長

東区のまちづくりを推進するという事で10の事業説明があった。何か質問はないか。

○ 委員

江津湖ウォークラリーだが、募集が200名とは少なくないか。

■ 事務局

募集は200名となっているが、200名にこだわりらない。ある程度増えても対応できる。

○ 委員

私の会は月1回開催していて、その参加者は200名を超している。こういったイベントではもっと募集をして欲しい。

今、江津湖はきれいになっているが、外来種が問題になっており、外来種は環境のいい江津湖で繁殖し、江津湖の生態系に影響を及ぼしている。こういったこともテーマとして取上げ、悪いものをなくすといった具体的なアイデアを出していただき、企画を成功させていただきたい。

○ 委員

区役所のどこの部署が主体であるのかをはっきりさせると同時に、出来るだけ多数参加させるということ考えて欲しい。

まちづくりの基本は人づくりと思っているが、各団体ともに後継者不足が問題となっている。一定の育成プランを作っていかなければいけない。サポーター養成講座というのがあるが、区役所としても人づくりを考えていかなければならない。例えば父親が歳を取って消防団をやめて、とりあえず子供に消防団へ入っておけという感じなので、実際に緊急事態になったときに、対応が非常に難しいということ。消防団と消防署の役割をはっきりさせて、自主防災クラブとどういう住み分けをしていくかということを検討して、新しい発想で見直しをしなければいけない。制度的な課題について見直しをしていくべきではないか。

■ 事務局

この推進事業は、区役所だけでやるとは考えていない。地域団体の協力はもちろんだが、若者の発想も大事だと考え、大学生や高校生の知恵も借りる。

江津湖ウォークラリーについても当然、委員をはじめ画図、泉ヶ丘、健軍など地域のお手伝いもお願いしたい。

まちづくりサポーターは、今回、広報と健康まちづくりで募集した。広報については、情報提供がうまくいかない実情を踏まえ、いかに伝えるか。広報を媒体としてまちづくり活動に参加できる人を養成し、増やしていく。

## 議題6 その他

○ 委員

役所が行うイベントの多くが、業者への委託事業であり、その受託業者から私たちの団体に話がくる。間に業者が入ると、何かちょっと違った方向付けで、今まで活動してきた割り当てというのが少し変わってくる。出来ることは、なるべく直接依頼して欲しい。

○ 委員

今、高齢者の方で生活保護を受けている方が増えている。その方々が、福祉施設に入所した場合、ロコミで広がっていくと、次々とそういう方を入所させなければいけなくなったとき、どうしたらいいかという悩みがある。今後、対応しなければならない時期が必ず来ると思うので、その時はよろしく



お願いしたい。

■ 事務局

基本的に施設の入所については、生活保護の方もそうでない方も基本的には契約となっている。生活保護の方で、費用が出せない部分については、一定の公費が掛かることになるかと思う。

○ 会長

事務局から何かあるか。

■ 事務局

次回は区内視察を8月上旬に考えている。改めて連絡する。

□ 会長

以上を持って、本日の懇話会は終了する。